

「情報労連 愛の基金」助成への御礼

NPO法人デフ・サポート足立  
理事長 及川 リウ子

2017年度「愛の基金」助成を賜り、心からありがたく、お礼申し上げます。

当団体は、地域に対して障害者とりわけ聴覚障害者への理解を広げるために、1993年に区内のろう者協会、手話通訳者連絡会、手話サークル連絡協議会が合同にて「足立区ろう者福祉推進合同委員会」を立ち上げ、その後2004年、NPO法人格を取得いたしました。その活動は、当初から「障害者、特に聴覚障害者に対する理解を広げること」、「手話の普及と手話通訳への理解」、「災害時の相互支援」を三本の柱として活動してまいりました。

幸い、徐々に理解を得て、現在では手話講習会や関係各方面への手話指導、制度外の手話通訳派遣、高齢聴覚障害者のためのデイサービス事業などを行っております。

また聴覚障害者と地域との交流を目指した3大行事（地区別対抗スポーツ交流会・クローバーまつり・新年餅つき大会）を設立当初より実施してまいりました。

現在、前述の活動と共に、聴覚に障害を持つ高齢者や重複障害者が安心して生活できるためのグループホーム設立準備を進めているところです。

聴覚障害者は、外見上の障害が分かりにくい事、音声言語の意思疎通ができない事などから、理解していただきたい場面でも壁が出来やすく孤立してしまう面もありましたが、全国各地における手話言語法の制定や差別禁止法案らの施行により、少しずつ理解が深まってきているように感じます。また、新しい情報機器の現れとともに、私達の世界も便利になり、徐々に意思疎通も自由に行われるようになってきましたことは、大変嬉しく思っています。

とりわけ情報関係で働いている皆さま方からの今回のご支援は、大きな喜びでもあります。

皆さまもご承知のように、電話を発明したグラハム・ベル博士は、聴覚に障害のある夫人のために、何とか助けたいとの意向から偶然電話を作ることになったとのお話をききますが、電電公社の頃より、聴覚障害者に対してご理解やご支援をいただいていた皆様方に今回の助成とともに、お礼を申し上げます。

どうぞ今後ともよろしくお願い致します。





